

## 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	京 都 府	市町村名	
プロジェクト名	「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的)          利用者の視点に立って、鉄道やバス等のダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供等の交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行うことにより、すべての人に「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現</p> <p>(概要)          京都府丹後地域においては、北近畿タンゴ鉄道（KTR）や、丹後海陸交通の路線バス等により公共交通網が形成されているが、これら公共交通ネットワーク全体を、利用者にとって更に便利で使いやすいものに改善していくため、具体的な「改善実行計画」を作成し、継続的な改善に取り組んでいる</p> <p>※ 「改善実行計画」（中間まとめ）の基本的な考え方          ○失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的に、できるところから改善に取り組む          ○公共交通を、事業者任せにせず、利用者も行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく</p> <p>(具体的な成果目標)          ○200円バス実証実験運行（京丹後市域）の利用者を対前年比150%[半年実績140%]          ○将来的に、公共交通利用者数を、遞減から横這い、増加に転じさせる          ○利用者が公共交通を便利で使いやすいと実感できること</p>		
プロジェクトの期間	平成18年度～21年度～将来	政策分野の分類 (①～⑪)	⑦ (⑪)
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	<a href="http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html">http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html</a>		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名 称	事 業 概 要	事 業 費 (単位：千円)	
新たな生活交通構築支援事業 (京都府単独事業)	地域の活性化や公共交通事業の経営改善を目的とする市町村の新たな「利用促進事業」等に対する補助 例：総合交通マップ作成、公共交通活用イベント、需要に応じた交通手段転換（乗合バス→乗合タクシー）事業など	40,376 (⑩ 25,000)	
北近畿タンゴ鉄道利用促進支援費 (京都府単独事業)	沿線地域等と連携して実施するKTRの利用促進事業	2,000 (⑩ 1,000)	
ゼロ予算事業 (ノーマイカーデー実施事業)	京都府丹後広域振興局における公共交通利用確保・拡大のためのノーマイカー通勤デーの設定（1回以上/月）	—	
総 計		42,376 (⑩ 26,000)	
そ の 他 特 記 事 項			
<p>【 「実現会議」 の特徴 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市町村合併により課題が顕在化し、取組が進められた事例</li> <li>府、地元市町、交通事業者、利用者、地元関係団体、有識者等が協働して計画策定、地元自らの問題として捉え、連携して改善を実行</li> <li>フォローアップを図るなど、地域関係者が一体となってPDCAサイクルにより改善を継続</li> <li>鉄道、バスは一般的には別々なものと見られがちだが、本件では、利用者の視点に立って、鉄道とバスを互いに連携すべき地域のネットワークとして捉え、また、改善内容は交通システムを構成する基本要素（ダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供）を具体的に提案</li> </ol> <p>【 プロジェクトの特徴 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>本プロジェクトは、京都府、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の協働事業</li> <li>このため、各団体ごとに調書を提出</li> </ol>			

「頑張る地方応援プログラム」に係るプロジェクトの募集について(平成19年3月28日付け総官企209号)様式1

都道府県名	京 都 府	市町村名	福知山市
プロジェクト名	「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的) 利用者の視点に立って、鉄道やバス等のダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供等の交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行うことにより、すべての人に「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現</p> <p>(概要) 京都府丹後地域においては、北近畿タンゴ鉄道(KTR)や、丹後海陸交通の路線バス等により公共交通網が形成されているが、これら公共交通ネットワーク全体を、利用者にとって更に便利で使いやすいものに改善していくため、具体的な「改善実行計画」を作成し、継続的な改善に取り組んでいる</p> <p>※ 「改善実行計画」(中間まとめ)の基本的な考え方 ○失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的に、できるところから改善に取り組む ○公共交通を、事業者任せにせず、利用者も行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく</p> <p>(具体的な成果目標) ○200円バス実証実験運行(京丹後市域)の利用者を対前年比150%[半年実績140%] ○将来的に、公共交通利用者数を、遞減から横這い、増加に転じさせる ○利用者が公共交通を便利で使いやすいと実感できること</p>		
プロジェクトの期間	平成18年度～21年度～将来	政策分野の分類 (①～⑪)	⑦ (⑪)
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	<a href="http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html">http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html</a>		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名 称	事 業 概 要	事 業 費 (単位：千円)	
光秀くんマイレール倶楽部(地元、事業者、行政の協働による利用促進事業)	福知山駅で対象JR乗車券購入者にポイントを付加、ポイント累積で福知山観光協会加盟店の商品券と交換	12,619 (⑩ 1,500)	
鉄道団体利用促進事業	福知山市内から一定区間内での団体鉄道利用者に対する支援を通じて利用をPR、促進	3,220 (⑩ 841)	
パーク&レール駐車場利用促進・鉄道利用啓発事業	利用者の利便性確保を図るため開設したパーク&レール専用駐車場の利用PR、支援及び鉄道利用広告	8,245 (⑩ 2,139)	
総合的交通ネットワーク構築調査事業(地域公共交通会議推進事業)	地域の実情や交通手段を持たない方々に配慮するとともに、地域のみんなで支え合う持続可能な総合的交通ネットワークの構築するためのアンケート等調査検討	2,168 (⑩ 1,568)	
路線バス利用促進事業	IT技術(GPS)を利用したオンデマンドフリーライドバス運行システム開発及びイベントによる公共交通利用促進啓発	56,318 (⑩ 0)	
ゼロ予算事業 (ノーマイカーデー実施事業)	公共交通利用確保・拡大のためのノーマイカー通勤デーの設定(1回以上/月)	—	
総 計		82,570 (⑩ 6,048)	
そ の 他 特 記 事 項			
<p>【「実現会議」の特徴】</p> <p>1 市町村合併により課題が顕在化し、取組が進められた事例</p> <p>2 府、地元市町、交通事業者、利用者、地元関係団体、有識者等が協働して計画策定、地元自らの問題として捉え、連携して改善を実行</p> <p>3 フォローアップを図るなど、地域関係者が一体となってPDCAサイクルにより改善を継続</p> <p>4 鉄道、バスは一般的には別々なものと見られがちだが、本件では、利用者の視点に立って、鉄道とバスを互いに連携すべき地域のネットワークとして捉え、また、改善内容は交通システムを構成する基本要素(ダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供)を具体的に提案</p>			

※ 本プロジェクトは、京都府、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の協働事業です。

「「頑張る地方応援プログラム」に係るプロジェクトの募集について(平成19年3月28日付け総官企209号)」様式1

都道府県名	京 都 府	市町村名	舞鶴市
プロジェクト名	「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的) 利用者の視点に立って、鉄道やバス等のダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供等の交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行うことにより、すべての人に「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現</p> <p>(概要) 京都府丹後地域においては、北近畿タンゴ鉄道（KTR）や、丹後海陸交通の路線バス等により公共交通網が形成されているが、これら公共交通ネットワーク全体を、利用者にとって更に便利で使いやすいものに改善していくため、具体的な「改善実行計画」を作成し、継続的な改善に取り組んでいる</p> <p>※ 「改善実行計画」（中間まとめ）の基本的な考え方 ○失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的に、できるところから改善に取り組む ○公共交通を、事業者任せにせず、利用者も行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく</p> <p>(具体的な成果目標) ○200円バス実証実験運行（京丹後市域）の利用者を対前年比150%[半年実績140%] ○将来的に、公共交通利用者数を、逡減から横這い、増加に転じさせる ○利用者が公共交通を便利で使いやすいと実感できること</p>		
プロジェクトの期間	平成18年度～21年度～将来	政策分野の分類 (①～⑪)	⑦ (⑪)
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	<a href="http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html">http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html</a>		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名 称	事 業 概 要	事 業 費 (単位：千円)	
鉄道等利用者駐車場の利用促進事業	鉄道利用者に対する市営駐車場の利用促進支援（パークアンドレールの促進）	44,400 (⑱ 11,400)	
イベント列車「舞鶴市民号」の運行による利用促進	舞鶴からJR、KTRを利用した企画旅行により利用促進をPR	5,492 (⑱ 1,144)	
JRまいレールのりのりポイントカード（地元、事業者、行	対象乗車券購入者にポイントを付与、ポイント累積で協賛店舗等で使用できる商品券と交換	8,700 (⑱ 2,500)	
総合交通マップ&時刻表、JR舞鶴線ポケット時刻表の作成	市内の北近畿タンゴ鉄道及び路線バスの路線図と時刻表を掲載したマップの作成、乗換・乗継など情報提供	5,766 (⑱ 1,340)	
一日自由乗車券作成・広報（イベントへの公共交通利用要請）	特産品である蒲鉾の板を活用した一日乗車券の作成及びポスター作成配付（観光施策と連携）	249 (⑱ 0)	
公共交通活性化実証実験事業	北近畿タンゴ鉄道、路線バス利用促進啓発リーフレットの作成、啓発看板設置及びバス利用モニター実験（コミュニケーション型アンケート調査、市内小学校の総合学習実施）	2,914 (⑱ 1,048)	
ゼロ予算事業（ノーマイカーデー実施事業）	公共交通利用確保・拡大のためのノーマイカー通勤デーの設定（1回以上/月）	—	
総 計		67,521 (⑱ 17,432)	

## そ の 他 特 記 事 項

### 【 「実現会議」の特徴 】

- 1 市町村合併により課題が顕在化し、取組が進められた事例
- 2 府、地元市町、交通事業者、利用者、地元関係団体、有識者等が協働して計画策定、地元自らの問題として捉え、連携して改善を実行
- 3 フォローアップを図るなど、地域関係者が一体となってPDCAサイクルにより改善を継続
- 4 鉄道、バスは一般的には別々なものが見られがちだが、本件では、利用者の視点に立って、**鉄道とバスを互いに連携すべき地域のネットワークとして捉え**、また、改善内容は交通システムを構成する基本要素（ダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供）を**具体的に提案**

※

本プロジェクトは、京都府、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の協働事業です。

「「頑張る地方応援プログラム」に係るプロジェクトの募集について(平成19年3月28日付け総官企209号)」様式1

都道府県名	京 都 府	市町村名	宮津市
プロジェクト名	「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的) 利用者の視点に立って、鉄道やバス等のダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供等の交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行うことにより、すべての人に「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現</p> <p>(概要) 京都府丹後地域においては、北近畿タンゴ鉄道（KTR）や、丹後海陸交通の路線バス等により公共交通網が形成されているが、これら公共交通ネットワーク全体を、利用者にとって更に便利で使いやすいものに改善していくため、具体的な「改善実行計画」を作成し、継続的な改善に取り組んでいる</p> <p>※ 「改善実行計画」（中間まとめ）の基本的な考え方 ○失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的に、できるところから改善に取り組む ○公共交通を、事業者任せにせず、利用者も行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく</p> <p>(具体的な成果目標) ○200円バス実証実験運行（京丹後市域）の利用者を対前年比150%[半年実績140%] ○将来的に、公共交通利用者数を、遞減から横這い、増加に転じさせる ○利用者が公共交通を便利で使いやすいと実感できること</p>		
プロジェクトの期間	平成18年度～21年度～将来	政策分野の分類 (①～⑪)	⑦ (⑪)
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	<a href="http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html">http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html</a>		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名 称	事 業 概 要	事 業 費 (単位：千円)	
KTR宮津線等 団体利用促進事業	KTR宮津線及び宮福線の団体鉄道利用支援	2,000 (19) 100)	
宮津市ターミナル センター改善事業	ターミナルセンターの、利用者利便を高めるための施設改修、小修繕、小規模改良等（手摺り、照明等）	89,045 (19) 8,304)	
ゼロ予算事業 (ノーマイカー デー実施事業)	公共交通利用確保・拡大のためのノーマイカー通勤デーの設定 (1回以上/月)	—	
総 計		91,045 (19) 8,404)	
そ の 他 特 記 事 項			
<p>【 「実現会議」の特徴 】</p> <p>1 市町村合併により課題が顕在化し、取組が進められた事例</p> <p>2 府、地元市町、交通事業者、利用者、地元関係団体、有識者等が協働して計画策定、地元自らの問題として捉え、連携して改善を実行</p> <p>3 フォローアップを図るなど、地域関係者が一体となってPDCAサイクルにより改善を継続</p> <p>4 鉄道、バスは一般的には別々なものと見られがちだが、本件では、利用者の視点に立って、鉄道とバスを互いに連携すべき地域のネットワークとして捉え、また、改善内容は交通システムを構成する基本要素（ダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供）を具体的に提案</p>			

※

本プロジェクトは、京都府、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の協働事業です。

## 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	京都府	市町村名	京丹後市
プロジェクト名	快適・安全・交流都市形成プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)  道路交通網の整備を促進することによって京阪神等との時間距離を縮めるとともに、自然を活かした都市計画のもとに災害に強いまちづくりを進め、快適・安全な生活環境を築き、都会では得られないやすらぎのある都市の形成を進める。  また、日本海に面した立地条件を活かした国際交流都市をめざして、近隣の空路・海路を利用するとともに、世界につながる高度情報化を推進する。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <p>①適正な土地利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街路の整備率 (28.5%→40.0%)</li> <li>・都市公園の供用面積 (16.4ha→25.0ha)</li> </ul> <p>②道路ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市までの自動車所要時間 (180分→100分)</li> </ul> <p>③河川・海岸・港湾の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久美浜湾のCOD値 (1.9~2.0mg/l →2mg/l 以下)</li> <li>・久美浜湾の全窒素値 (0.12~0.31mg/l→0.3mg/l 以下)</li> <li>・久美浜湾の全リン値 (0.020~0.031mg/l →0.03mg/l 以下)</li> </ul> <p>④住宅の供給と安心できる住環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅の最低居住水準未達住宅率 (63.80%→40%)</li> </ul> <p>⑤地域交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント列車(市民号)の運行 (0回→2回)</li> <li>・京丹後市内7駅乗降客数 (551千人→570千人)</li> <li>・路線バス利用者数 (160千人→180千人)</li> </ul> <p>⑥上下水道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽管延長(上水道) (32,700m→6,500m)</li> <li>・老朽管延長(簡易水道) (46,400m→13,900m)</li> <li>・水洗化普及率 (47.5%→75.0%)</li> </ul> <p>⑦防犯・交通安全の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市管理防犯灯の設置数 (2,780本→5,000本)</li> </ul> <p>⑧消防・防災体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火水槽 (639基→660基)</li> <li>・自主防災組織 (5団体→20団体)</li> </ul> <p>⑨地域情報化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代ブロードバンド(上り30Mbps)利用可能世帯数 (0世帯→全世帯)</li> <li>・電子申請手続の種類 (0手続→152手続)</li> </ul>		
プロジェクトの期間	H19~H26	政策分野の分類 (①~⑪)	⑨
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	<a href="http://www.city.kyotango.kyoto.jp/machidukuri/ganbaruchihou/index.html">http://www.city.kyotango.kyoto.jp/machidukuri/ganbaruchihou/index.html</a>		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策		
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)
八丁浜シーサイドパーク整備事業	八丁浜シーサイドパークの植栽、園路、遊具施設などを整備する (平成元～平成20年度の20ヵ年事業)	188,000 (78,000)
鳥取豊岡宮津道路アクセス道路都市計画調査経費	大宮峰山インターチェンジのアクセス道路の予備設計を実施する	7,000 (7,000)
地方道路整備臨時交付金事業	スムーズな道路交通を確保し、観光振興・産業を発展させるため道路を整備する(6線)	3,137,000 (337,000)
街なみ環境整備事業	伝統的な街なみの保存と道路美装化などの整備を行い、ゆとりと潤いのある住宅地の形成を図る(平成16～25年度の10ヵ年事業)	709,476 (75,312)
市営住宅松岡団地建替整備事業	まちづくり交付金事業として市営住宅松岡団地内の道路整備を図る(平成16～20年度の5ヵ年事業)	193,427 (36,597)
地域子ども教室活動補助金	子どもたちの居場所づくりや子どもの成長を支援する活動を地域で実施する団体等に対して補助金を交付する	16,000 (2,000)
高齢者人材活用講座開設経費	高齢者の優れた知識と技能を活かした地域活動を推進するとともに、高齢者の生きがいを高めるため、人材活用講座を開設する	2,402 (302)
鉄道軌道近代化設備整備事業費補助金	北近畿タンゴ鉄道(株)が、鉄道事業の近代化を促進し、その経営収支及びサービスの改善並びに保安度の工場を図るために要する経費に対し支援を行なう。	142,487 (15,487)
地方バス路線運行維持対策補助金	地域住民の生活に必要なバス路線の維持が困難となっている現状に鑑み、生活交通路線の確保方策の一環として、バス運行事業者である丹後海陸交通(株)に運行維持支援を実施する。	778,387 (87,387)
北近畿タンゴ鉄道「京丹後市民号」運行による利用促進	K T R 車両を貸切り、京丹後市民を対象のイベント列車の企画・運行により利用促進	627 (180)
甲山駅ホーム待合室整備事業	K T R 甲山駅の待合室に防寒防風設備を設置	1,129 (1,129)
網野駅バスターミナル等整備事業	利用者利便の確保・向上のための駐輪場整備、駅及び駅前バス停屋根設置等	3,765 (500)
バスの魅力向上事業	乗って楽しいバスにするためのラッピング等車両の改善	732 (0)
分かりやすく使いやすい時刻表作成等啓発事業	接続・乗換・観光情報を盛り込んだ冊子型時刻表を全戸配布、ポケット型を公共施設等で配布ほか、多様な啓発活動	2,105 (475)
200円バス運行支援事業	200円バス実証実験運行に要する経費の一部を負担	10,000 (10,000)
ゼロ予算事業 (ノーマイカーデー実施事業)	公共交通利用確保・拡大のためのノーマイカー通勤デーの設定(1回以上/月)	—
多重債務相談・支援室開設	多重債務者は借金問題を一人で抱え込み悩んでいる場合が多く、最悪の場合自殺に至るケースもある。こうした悲劇を避けるため、市役所に多重債務相談・支援室を設置して、多重債務者を弁護士に確実に引き継ぎ、多重債務を解決することにより、安心して生活できるよう生活の立て直しを図る相談支援を行う。	2,156 (156)
自治会貸与除雪機械整備経費	自治会に除雪機を貸与し、市域の除雪力向上と狭い道路での除雪に対応する(8台導入予定)	174,800 (15,200)

プロジェクトを構成する具体の事業・施策		
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)
網野地域内水処理対策経費	網野地域の総合的な内水処理対策を実施するための認可設計及び暫定対策工事を実施する	2,608,750 (30,000)
自主防災組織等支援経費	災害に強いまちづくりを推進するため自主防災組織の防災資機材整備等に対して補助金を交付するとともに、自主防災・防災リーダー養成講座を開設する	9,112 (1,139)
アマチュア無線アンテナ設置経費	京丹後市アマチュア無線災害ボランティアとの災害時応援協定締結に基づき、網野、弥栄、久美浜の3庁舎に無線用アンテナを設置する	2,410 (1,205)
ブロードバンドネットワーク整備事業	都市部・市内地域間の情報格差を解消するため、光ファイバ網によるブロードバンド基盤を整備する	4,500,000 (323,016)
地域ICT利活用モデル構築事業	「KyoTANGO Style」(仮称)の構築 平成19年度 118,000千円 平成20年度 80,000千円 平成21年度 80,000千円	278,000 (118,000)
総 計		12,767,765 (1,140,085)
その他特記事項		
※ 太枠囲い部分が、「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」の取組(京都府、福知山市、舞鶴市、京丹後市、伊根町、与謝野町の協働事業)		



都道府県名	京 都 府	市町村名	伊根町
-------	-------	------	-----

プロジェクト名	「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」
---------	------------------------------

プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的) 利用者の視点に立って、鉄道やバス等のダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供等の交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行うことにより、すべての人に「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現</p> <p>(概要) 京都府丹後地域においては、北近畿タンゴ鉄道（KTR）や、丹後海陸交通の路線バス等により公共交通網が形成されているが、これら公共交通ネットワーク全体を、利用者にとって更に便利で使いやすいものに改善していくため、具体的な「改善実行計画」を作成し、継続的な改善に取り組んでいる</p> <p>※ 「改善実行計画」（中間まとめ）の基本的な考え方 ○失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的に、できるところから改善に取り組む ○公共交通を、事業者任せにせず、利用者も行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく</p> <p>(具体的な成果目標) ○200円バス実証実験運行（京丹後市域）の利用者を対前年比150%[半年実績140%] ○将来的に、公共交通利用者数を、遞減から横這い、増加に転じさせる ○利用者が公共交通を便利で使いやすいと実感できること</p>
------------------------	--

プロジェクトの期間	平成18年度～21年度～将来	政策分野の分類	⑦ (⑪)
-----------	----------------	---------	-------

住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	<a href="http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html">http://www.pref.kyoto.jp/kotsu/tango.html</a>
-------------------------	---

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名 称	事 業 概 要	事 業 費 (単位：千円)
ゼロ予算事業 (ノーマイカーデー実施事業)	公共交通利用確保・拡大のためのノーマイカー通勤デーの設定 (1回以上/月)	—
	総 計	

そ の 他 特 記 事 項

<p>【 「実現会議」の特徴 】</p> <p>1 市町村合併により課題が顕在化し、取組が進められた事例</p> <p>2 府、地元市町、交通事業者、利用者、地元関係団体、有識者等が協働して計画策定、地元自らの問題として捉え、連携して改善を実行</p> <p>3 フォローアップを図るなど、地域関係者が一体となってPDCAサイクルにより改善を継続</p> <p>4 鉄道、バスは一般的には別々なものと見られがちだが、本件では、利用者の視点に立って、鉄道とバスを互いに連携すべき地域のネットワークとして捉え、また、改善内容は交通システムを構成する基本要素（ダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供）を具体的に提案</p>
---

※

本プロジェクトは、京都府、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の協働事業です。

## 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	京 都 府	市町村名	与謝野町
プロジェクト名	「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的) 利用者の視点に立って、鉄道やバス等のダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供等の交通システムを構成する基礎的な部分に立ち返って改善を行うことにより、すべての人に「分かりやすく」、「使いやすい」面的な公共交通ネットワークを実現</p> <p>(概要) 京都府丹後地域においては、北近畿タンゴ鉄道（KTR）や、丹後海陸交通の路線バス等により公共交通網が形成されているが、これら公共交通ネットワーク全体を、利用者にとって更に便利で使いやすいものに改善していくため、具体的な「改善実行計画」を作成し、継続的な改善に取り組んでいる</p> <p>※ 「改善実行計画」（中間まとめ）の基本的な考え方 ○失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的に、できるところから改善に取り組む ○公共交通を、事業者任せにせず、利用者も行政も一緒になって自ら考え、皆で良くしていく</p> <p>(具体的な成果目標) ○200円バス実証実験運行（京丹後市域）の利用者を対前年比150%[半年実績140%] ○将来的に、公共交通利用者数を、遞減から横這い、増加に転じさせる ○利用者が公共交通を便利で使いやすいと実感できること</p>		
プロジェクトの期間	平成18年度～21年度～将来	政策分野の分類 (①～⑪)	⑦ (⑪)
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	URL: <a href="http://www.town.yosano.lg.jp/view.rbz?cd=1440">http://www.town.yosano.lg.jp/view.rbz?cd=1440</a>		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名 称	事 業 概 要	事 業 費 (単位：千円)	
KTR利用促進事業	KTRレジャー特急回数券活用（職員旅費代替）	8,285 (19 1,983)	
野田川駅花いっぱい運動事業	地元住民と協働した花壇整備（駅構内軌道跡地）	195 (19 0)	
野田川駅整備事業	駅舎の利便性向上（自由連絡通路設置、ホーム観光看板改装、待合室改善、駅前バスレーン・駐車枠の引き直しなど）	10,000 (19 8,000)	
住民意識調査事業	公共交通のあり方検討のための住民アンケート実施	105 (19 0)	
ゼロ予算事業 (ノーマイカーデー実施事業)	公共交通利用確保・拡大のためのノーマイカー通勤デーの設定 (1回以上/月)	—	
総 計		18,585 (19 9,983)	

## そ の 他 特 記 事 項

### 【 「実現会議」の特徴 】

- 1 市町村合併により課題が顕在化し、取組が進められた事例
- 2 府、地元市町、交通事業者、利用者、地元関係団体、有識者等が協働して計画策定、地元自らの問題として捉え、連携して改善を実行
- 3 フォローアップを図るなど、地域関係者が一体となってPDCAサイクルにより改善を継続
- 4 鉄道、バスは一般的には別々なものが見られがちだが、本件では、利用者の視点に立って、**鉄道とバスを互いに連携すべき地域のネットワークとして捉え**、また、改善内容は交通システムを構成する基本要素（ダイヤ、運賃、駅・停留所、車両、情報提供）を**具体的に提案**

※

本プロジェクトは、京都府、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の協働事業です。